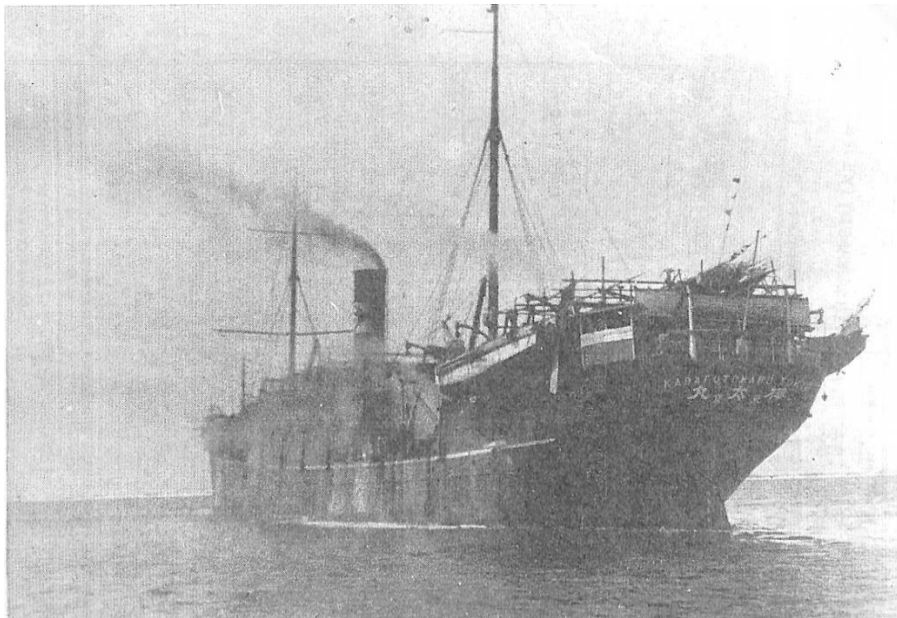


八木商店本店資料館、2018年4月からオープン！

「八木商店本店」は今治の実業家・八木亀三郎（1863～1938）が大正7年に建てた「八木商店」の本社兼邸宅です。総敷地面積 1276 坪（裏山回遊式庭園含む）、屋敷は床面積 238 坪の広大な和風建築で建築当初のままで保存されています。

八木亀三郎翁は松山藩の港町・波止浜の商家「升屋」^{ますや}に生まれ、明治 24（1891）年から波止浜塩の輸出などを目的とした朝鮮・ロシア沿海州との貿易事業を手がけます。そして富を築くきっかけになったのが、明治 26 年からロシア沿海州ニコライエフスクで始めた鮭鱒漁業と塩蔵鮭^{えんぞう}の輸入で、大正 6（1917）年には愛媛県一の高額納税者となっています。その過程で波止浜村長や愛媛県会議員、今治瓦斯株式会社^{がす}（現、四国ガス株式会社）初代社長や今治商業銀行（伊予銀行の前身の一つ）頭取を務めるなど、今治地方政財界の要職に就いています。

とりわけ、大正 13（1924）年からカムチャッカ半島沿岸で始めた母船式蟹漁業^{かに}は、その年から昭和 2（1927）年までわが国の蟹缶詰製造で日本一の生産量を誇るなど、息子・實通^{まさやす}とともに北洋漁業の先駆者として業界史に名をとどめています。製造された缶詰は、三菱商事を通じて英国へ輸出されました。



権太丸

その実業の拠点となったのが今回ご紹介する「八木本商店本店」です。ここを縁あって株式会社藤高の子会社藤高興産株式会社が戦前に取得し、今日まで当社グループで維持管理して参りました。



八木商店（外観）



八木商店（中庭）

こうした中 2017 年 4 月、東京の古書店に八木亀三郎に関する 1900 点余の資料があることを偶然当社社長が知り購入に至りました。「八木商店」解散（昭和 13 年）後、80 年近い年月をへて、資料が奇跡的に里帰りを果たすことになりました。この一部を公開し、また八木亀三郎翁の事績や主として今治出身の書家・画家の展覧の場として、2018 年 4 月から「八木商店本店資料館」として一般公開することといたしました。